

## 8月7日 取手臨時市議会 「新型コロナ対策」 第2次補正予算 23億8,900万円

### いのちと暮らし営業最優先の対策予算に 日本共産党

取手市は、8月7日開催の臨時市議会に提案する第2次「新型コロナ」対策事業予算案を7月31日議員に送付しました。

予算案は、国からの地方臨時交付金8億2700万円を活用した事業規模総額を23億8900万円とし、GIGAスクール環境整備9億2千万円、プレミアム商品券11億5600万円を主な事業としています。

#### 子どもに一台のタブレットより 先生増員

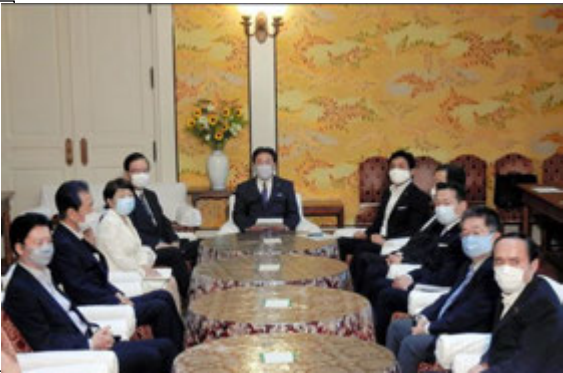
学校の全面的なオンライン教育には、「集団の中で学び人格の完成を目指す学校教育の在り方が根底から壊れてしま



う」等教育専門家のみなさんから疑問視する意見も多く上がっています。

そもそも「GIGAスクー

内(朝日新聞DIGITALより)



共産党、立憲民主党、国民民主党等野党党首が臨時国会要求で一致した会談＝7月30日、国会

## 野党5党派臨時国会召集を要求

### 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(第二次分)活用事業一覧

(取手市資料より) R2.7.31

(単位:千円)								
項目	事業	事業費	財源内訳				交付金	一般財源
			国・県 (交付金総)	地方債	その他			
民生生活支援	1 防災ラジオの普及拡大事業	6,534	0	0	560	5,153	821	
	2 健康づくり継続支援事業	6,000	0	0	0	5,175	825	
	3 新生児特別給付金給付事業	12,821	0	0	0	11,059	1,762	
	4 GIGAスクール環境整備事業	920,759	309,400	179,200	39,573	346,481	46,105	
	5 夏休みの短縮に伴う小中学校関係経費	13,342	0	0	11	11,508	1,823	
	6 要保護・準要保護世帯支援事業	950	0	0	0	819	131	
	7 電子図書館システム導入事業	5,170	0	0	0	4,459	711	
小計		965,576	309,400	179,200	40,144	384,654	52,178	
経済支援	8 事業継続応援給付金給付事業	84,891	73,814	0	5	9,555	1,517	
	9 プレミアム付商品券事業	1,155,891	44,619	0	784,006	282,294	44,972	
	10 地域公共交通等支援事業補助金	20,000	0	0	0	19,000	1,000	
	11 芸術家パートナーシップ事業	4,000	0	0	0	3,450	550	
	12 指定管理施設休業支援金	20,596	0	0	0	20,596	0	
小計		1,285,378	118,433	0	784,011	334,895	48,039	
感染拡大防止	13 サテライト勤務環境の整備経費	5,085	0	0	0	4,386	699	
	14 感染拡大防止の観点から実施する保育所施設整備事業	38,090	0	18,800	0	19,290	0	
	15 感染症指定医療機関及び協力医療機関への支援金	9,000	0	0	0	9,000	0	
	16 都市計画図データ整備事業	41,909	0	0	0	36,149	5,760	
	17 感染拡大防止の観点から実施する学校教育施設整備事業	29,730	0	11,300	0	17,450	980	
	18 感染拡大防止の観点から実施する公民館トイレ改修事業	15,926	0	7,900	0	8,026	0	
小計		155,123	0	38,000	0	107,571	9,552	
合計		2,406,077	427,833	217,200	824,155	827,120	109,769	

学校現場が求めるコロナ感染症対策は、3密を避け安心して学べる25人程度の少人数クラスです。

#### 「プレミアム商品券」対策効果は

プレミアム商品券も手間と費用の割に効果は期待できません。

教育補助員や用務員等職員採用など1330万円、事業継続応援給付金に8500万円の他、保育所・学校・公民館施設改修、防災ラジオ普及拡大、地域公共交通・芸術家支援などの予算も含まれています。

最も財政支援を必要とする分野への対策こそ優先すべきです。

#### 検査と医療へ 財政支援を

政府が責任を持った取り組みができていないもとで、市民の命を守る基礎自治体として、中核的病院に限らず市内すべての医療機関への財政支援が切実に求められています。



JAとりで医療センター  
(茨城新聞より)

PCR検査の抜本拡大・医療現場に財政支援速やかに全小中校3密避ける全クラス30人以下クラス今すぐ

共産党は、「コロナ」一次感染拡大時の3月から、飲食店等市内事業所、学校、医療機関や保健所など訪問・アンケート調査を行ってきました。

寄せられた要望を国会・県議団とも連携して行政に届け対策実施を求めてきました。



# 主権在民の下での議会制民主主義が問われ続ける市議会

「新型コロナ」ウイルスの感染急拡大で、市民の命と暮らしを脅かす重大事態を迎える中、政治と行政の役割が厳しく問われています。市の「コロナ」対策を促し実行させるべき市議会が、必要な審議を自粛するのは議会の自殺行為です。

地方自治法や会議規則を遵守し、市民の声を生かす「コロナ対策」実施へ民主的議会運営が求められます。

## 6月定例議会の誤り繰り返すな

「コロナ危機」のりこえ安全・安心の市の対策を



「言論の府」の殿堂 取手市議会・議会棟

6月定例市議会は、日程大幅短縮、「新型コロナ」質問禁止、4.2億円を超える「コロナ」対策予算案の質疑は、会期前のオンライン説明を理由に3分、委員会付託省略、議案も請願も実質審議抜きでした。

市民から「今こそ議会の役割が大事」「今、コロナ抜きで市政の何を質すのか」「議会が総力を挙げコロナ対策を」との声が広がりました。

### 議会挙げての感染症対策への転換を

「『議会感染症対策会議』で議論している」からというのが6月議会の「コロナ質問」禁止の主な理由でした。「同会議は議長・副議長・各会派代表等で構成された任意の組織です。市政の全分野にわたる「コロ



議会棟大会議室に議員24名全員と市長ら市の幹部職員参加で行われた議会全員協議会＝8月3日

ナ」対策には、市民の多様な願いを最大限に反映させる事がが必要です。日本共産党は、一致点での共同とともに、市民の負託を受けた全議員・会派を尊重し議会の全機構挙げての取り組みを求めています。

### 議会より大事な市長の公務って？

8月7日の臨時議会は、23億8900万円の「コロナ対策」予算案を審議する「コロナ禍」の重要な議会です。市長は、議会当日の公務都合により時間短縮（本会議の議案説明省略）と10時の開催時間を9時に変更することを議会に要求。議会運営委員会はそれを認め、市長は、議案の事前説明（4日）を行いました。

取手市議会会議規則でも10時開催を定めており、市長にとって最大の公務である議会よりも他の公務優先は、議会軽視の批判を免れません。

### 休憩で話まとまる？ 議事進行は委員長でなく事務局

「新型コロナ」感染拡大時の議会運営について審議した、7月30日の議会

運営委員会で委員長は、議会事務局次長の議事進行による休憩中の審査を提案。「議事録に残すことが大事、休憩せずに進行を」（小池・根岸市議）等の意見に対し「休憩してやった方が話がまとまる」（赤羽市議）との意見がある中多数で決定。休憩中の審査を事務局次長が進めました。この間の運営委員会は、休憩中審査を事務局中心の運営で行うという議会の審議を逸脱した行為が目にとります。

### 休憩中審査

開会中の会議は議事録が義務付けられ、休憩中の会議に議事録を残す義務はありません。地方自治法や会議規則が適用されないルールなき「会議」です。

### 「コロナ禍」の9月議会再び会期・質問等短縮の見通し

「コロナ感染」拡大時の議会は、大幅短縮で運営する基本方針が自民・公明等与党の賛成多数で決められました。本会議でも委員会でも非公式・非公開・休憩中の議論が多く、議会の傍聴・会議録作成など公開原則を蹂躪する事態の拡大が、取手市議会の危うさを感じざるを得ません。

## 広大な水田壊し 災害リスク拡大する桑原開発

### コロナ感染爆発で農政に重大な警告も



桑原開発予定地域に広がる広大な水田（桑原の跨線橋から国道6号方面を見る）

68haの農地を壊し食糧生産低下と市内の既存商店衰退に拍車、その上広大な水田の遊水機能破壊で災害リスクを拡大する桑原開発。「コロナ禍」でも本年度予算は調査設計の補助金1億5200万円、これまで3億3142万円の市税を桑原開発に投入。「農業で生計が立たず、後継者不足」農家の深刻な事態は、政府の輸入自由化路線等の結果です。

自給率が40%以下に低迷する

日本の食料、農業は今、歴史的な危機に直面し、新型コロナウィルス感染爆発は、日本の食や農の現状にも重大な警告を発しています。

日本共産党は、食料と農地破壊に反対し、続けられる農業へ、価格・所得保障と就農者支援等、農業を地場産業の柱に、位置付けと支援を行うことを求めます。